

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年8月分)

1. 調査実施期間 平成22年 7月20日 ~8月10日

### 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

8月分の回答企業数は41社、回収率は91.1%である。

### 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		22/8月	9月	10月
仕入動向	国産材	△ 19.1	1.5	△ 1.5
	外材	△ 11.3	△ 7.5	△ 3.8
販売動向	国産材	△ 22.9	10.0	5.9
	外材	△ 14.1	0.0	1.3
在庫動向	国産材	△ 14.1	△ 3.1	0.0
	外材	△ 15.0	△ 10.0	△ 7.7

仕入は、国産材、外材とも旧盆明け回復顕著で、秋需要期を迎え、小さなマイナスと明るさ窺える。販売は、国産材、外材とも厳しいマイナス局面から一気にプラス転換し好調気配。

在庫は、国産材やや大きなマイナスから先行きゼロとし、良材等への積極的な在庫姿勢か。また外材も大きなマイナス先行き着実に縮めている。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	22/8月	9月	10月
スギ正角(グリーン)	△ 2.3	2.3	0.0
スギ正角(KD)	△ 4.3	2.2	0.0
ヒノキ正角	△ 4.2	2.1	0.0
ヒノキ土台角	△ 2.2	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	0.0	2.2
米ツガ防腐土台角	2.1	2.1	2.1
米ツガ割物(現地挽)	3.8	0.0	0.0
米マツ平角	1.9	1.9	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	6.3	2.1	4.3
ホワイトウッド集成管柱	10.4	2.1	△ 2.2
レッドウッド集成平角	18.4	5.3	2.6
型枠合板(国産)	23.9	17.4	△ 2.3
型枠合板(輸入)	27.3	6.8	△ 2.4
針葉樹合板	25.0	10.0	△ 2.6

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台とも小さなマイナスから出入りあるが先行きゼロと堅調。

米ツガ正角、割物、防腐土台角及び米マツ平角いずれもゼロ、小さなプラスと安定し好調変わらない。北洋アカマツタルキもプラスで安定している。

ホワイトウッド集成管柱、レッドウッド集成平角とも大きなプラスを縮め、小さなマイナス、小さなプラスと需要期において若干の陰り注視される。

合板(針葉樹を含む)は、大きなプラスを一気に縮め、マイナスへの転換局面の様相。

1. 荷動き	
仕入動向	米マツ一般材丸太では、上昇を続けた米国産輸出価が7月積みは据え置かれた。カナダ材FASは大幅な出材減から上昇。中国の買いは自国消費向けにオールドグラス役物丸太を手当てしており、北米スプルーース等役物丸太は中国マーケットへと向いつつある。(東京:米材問屋) 集成材など品薄だった材も買いやすくなった。(東京:米材問屋) 久し振りに入荷があり一息付けた。ただ仕入れ価格が上昇していて採算は悪化気味。(東京:米材問屋) 例年8月は売上減少するため仕入れは控え目で推移すると思われる。(東京:外材集成材問屋) 南洋材:天候は不安定で出材はあるが日本向けは少ない。中国材:内需旺盛と人件費上昇、人民元上昇から日本向けの価格も上昇。(東京:南洋・中国材問屋) サバ・丸太不足で入荷減。(東京:南洋材問屋) ロシア産原木(広葉樹)の入荷少ないまま道内生産は減産中。一部製品に品薄感が出ている。(東京:広葉樹材問屋) 良材は積極的に仕入れている。(東京:国産材問屋) 原木は少ない。(東京:国産材問屋) 7月はプレカット工場の稼働状況もやや上向きになり荷動きもまざまざ。8月は稼働日数も少なく荷動きやや悪いが、プレカットの見積りが少し多くなってきている。先々仕事量が多くなる事を予想している。(東海:外材問屋) 7月も普通で終わる。8月は日数も少ないので横ばいかと思う。(東京:仲買小売) 全般的に荷動き・価格とも横ばい状態。(大阪:仲買小売)
	販売動向
在庫動向	米マツ一般材丸太、京浜マーケットでは、小手メーカー中心に仕事減から内地材丸太製材、賃挽き等で凌いでいるのが現状で、問屋の値上げアナウンスも完全に失速。(東京:米材問屋) ビルダーの仕事をしているプレカットからの問い合わせは引続き良好。(東京:米材問屋) 引合は大幅に増えているが徹底した当用買いの姿勢は変わらず、成約に時間がかかっている。(東京:米材問屋) 盆休み前の仕事で受注量は増加しているが細かい内容が多く利益が少ない。入荷不足から対応出来ない寸法が依然として多い。(東京:南洋・中国材問屋) 夏休み学校関連の仕事増で先月に続き好調。(東京:南洋材問屋) 仕入がスムーズになると販売は不振になった。(東京:米材問屋) 8月は売上減少。例年9-10月で売上増加を見込む。(東京:外材集成材問屋) 7月は動いた。構造材はダメだが造作材は良い。(東京:国産材問屋) 売れる材が不足しているが、価格は上がらない状況が続いている。(東京:特殊材・銘木問屋) まとまった仕事が無い。注文は少量小額。(東京:国産材問屋) 細かいながら全体に動きが出てきている。在庫を極端に減らしているためか、秋口は小動きが期待できる。(東京:国産材問屋) 細かいながら少し動きが出てきた気配有り。(東京:国産材問屋) 大変動き悪いのは相変わらず。(東海:外材問屋) 依然荷動き悪いが、若干先行良い予想も一部に出てきた。(東京:仲買小売) 8月後半に期待。(東京:仲買小売) ゼネコン1現場に対し下請け工務店は複数の取引業者から相見積りをとり比較するため、価格競争はそれだけ厳しくなる。(東京:仲買小売) 町場に活気なし。設計事務所がらみが少しだけ、ほんの一握りの所だけ仕事を抱えているようだ。(東京:仲買小売) 7月頃から極端に荷動きが悪化。二番底と言っても過言ではない状況。8月は連日夏休み状態。(東京:仲買小売) ツガ材を中心にまとまった仕事が出てきた。仕事の数も大分増え材料が動いた。新築の話が増えてきたが、消費税発言の影響か。(東京:仲買小売) 秋まで非常に忙しい状態が続くと思われる。(東海:仲買) 毎日閑。小口配送ばかり。(大阪:仲買小売) 改築減少のためヒノキ、ベイマツ等の構造材が落ち込む。(大阪:仲買小売) 相変わらず低迷中。変化なし。(大阪:仲買) スギ板類が不足気味で値は強含み。7月は少し持ち直したが8・9月は厳しい予想。(大阪:仲買)
	在庫動向
2. 価格動向	
スギ正角	新材が出るまで目立った動きなし。(東京:問屋) 過去1年通して余り変動無い。(東京:仲買)
ヒノキ正角 土台角	価格・荷動き変化なし。(東海:問屋)
米ツガ	変化なし。防腐土台のみ7月より1,000円/m <sup>3</sup> 値上がり。(東海:問屋) 価格強含み変わらず。(東京:問屋)
米マツ平角	全く無風。(東京:問屋) 6月に2,000円/m <sup>3</sup> 値上りしたが荷動き悪く、値下げして売っている問屋もあるらしい。(東海:問屋)
北洋アカマツ タルキ	やや上昇気配だったが荷動き悪く横ばいで保合。エゾは7月に2,000円アップ。(東海:問屋) 1,000~2,000円/m <sup>3</sup> じわじわ値上げ浸透。(東京:仲買)
WW・RW 集成材	一服感あり、9月に入れば若干下がる様相。(東京:問屋) 間柱が1,000円/m <sup>3</sup> 上がる。(東京:問屋) WW柱は今が最高値と思われる。RW中断面はもう一段値上げか。(東京:問屋) WW:価格はほぼ高止まり。105角 1,900~1,950円/本。納期も10日前後で入荷。RW:やや上昇気配もほぼ横ばい予想。納期も短縮されている。(東海:問屋) 高止まりの様子も。相変わらず品薄。(東京:仲買)
合板	7月価格でほぼ横ばい。今までの勢いは無くなりつつある。(東海:問屋) 今も強気の相場感がある。(東京:仲買) コンパネは輸入量が少なく堅調。(東京:仲買)